

# C S だより

community school

文責：菊岡 文枝  
(CS ディレクター)

冬の寒風が身に染みる時期となりました。保護者の皆様、地域の皆様には本校の教育活動にご協力いただき、まことにありがとうございます。今月号では6年生の古墳学習のまとめである発表会の様子とクラブ活動の様子を取り上げました。

## 12月・1月活動記

### 6年生が古墳学習で学んだことを発表しました

今年度も6年生は須津地域の古墳について学びました。7月には千人塚古墳で、発掘調査中の石室内部を見学し、その大きさに驚いていました。その後はグループごとにテーマを決めて学びを深めていました。12月17日(火)の発表会には富士市埋蔵文化財課の学芸員3名、まちづくり協議会の関係者3名の参加がありました。どのグループもいろいろな資料を調べ、私が知らないような内容も含まれていて大変参考になりました。古墳にはいろいろな形があります。「前方後円墳」「前方後方墳」「円墳」などです。子供たちはどの古墳が耐久性があるか、古墳を実際に砂で造ったり、土で造ったり、水をかけたり、揺らしてみたりして調べたそうです。埋蔵文化財課の学芸員は「自分たちはそんな視点で古墳のことを考えたことはなかった。」と子供たちの発想力の高さに驚いていました。



### クラブ活動に地域の方が講師として参加しました



クラブ活動は異学年交流を目的に、年6回行われています。今年度は地域の方に外部講師として来ていただきたいと依頼したところ、パソコンとソフトバレーボールに参加してもらうことができました。ソフトバレーボールに参加した武田いくみさんから「担当の先生が楽しいプログラムを考えてくれているので、私も楽しく参加できました。次回もクラブ活動があるなら声をかけてほしいです。」との声をいただきました。